

建設不動産部会報

第7号



『東京の地価高騰に思う』

藤和不動産株式会社
取締役経理部長

松岡 榮 八 (28年商卒)

昭和60年から始まった東京の地価上昇は、昨61年に狂騰とも言える高騰を示した。第4次首都圏整備計画や四全総の目指した首都東京改造計画は、東京に集中した機能の分散配置計画であった筈であるが、現況はむしろ逆の方向に行っているようである。

国内企業も本社機能を大阪・名古屋から東京に移転するものもあるし、極端な例としては、一旦新都心新宿へ移動した本社機能を又、元に戻すべく計画している所もあるそうである。理由は僅か数キロしか違わないが情報量の差だそうである。又、国際化の波に乗って外国企業の進出にも目ざましいものがある。周知のとおり、金融市場の開放で特に金融機関の機能が東京に集中している。それに伴い、必然的に外国人の移住が増加している。東京は今、国内の地方都市には見られない特異な変貌を続けており、その格差をますます拡げ続けているのである。そして又、単に日本の首都に止まらず世界のメトロポリスへと変化しつつある。

かつて、ニューヨーク・ロンドンが果していた世界の金融市場の一画に東京も又その地位を固めつつあり、近い将来時差の関係からロンドンを抜いて、ニューヨーク・東京の2大市場を形成するかも知れないとのことである。

このような情勢を背景にしているとはいえ、昨年度の東京都心部の地価高騰は、まさに異常の一語につきる。ほんの一区域の特別な高騰、例えば都心3区の特定地域での特殊な環境変化による異常現象であれば、それなりの説明もつくが、周辺部にまで拡大された今日の異常さは今迄体験したこともない現象なのである。

このような現象は一過性のものかも知れないが、急激に国際化しつつある東

京の特性を傍観しているだけでは済まされない市場現象である。

優良な住宅の供給、あるいは利便性の高いオフィスの提供と、まさにやらねばならない事が山積されていると共に、又、我々業界の使命と自覚すべきではないだろうか。他方、今年度の我が国経済成長の柱として期待されている今である。大いに頑張っでそれぞれの社業の発展に励もうではないか。ただ、その中で気を付けねばならないことは、好調の時にこそ気の付かないうちに「ツマヅキ」の芽は育って行くものである。

古くから「好事魔多し」とか「鹿を追う猟師山を見ず」とか言われるが、着実に且つ大胆に飛躍しよう。

最後に我が建設・不動産部会も着実に会員も増加し、拡大しつづけていることは非常に喜ばしいことであり、これもひとえに役員諸君の努力の賜物と感謝すると同時に、副会長という役責を十分に果せない小生の日常を反省し、誌面を借りてお詫び申し上げます。



新年賀詞交歓会報告

事務局長 鈴木正彦

1月14日、大学会館において例年の如く新年賀詞交歓会が開催されました。

庄司部会長の挨拶、来賓祝賀に続き松岡副部会長の音頭で乾盃、役員の夫人達もホステス役を努め、賑かに新春を祝い合いました。明大OBの立川談之助師匠の落語(?)とオークションで雰囲気が大いに盛り上がり、応援団OBの牧靖祐氏(40・政経)の音頭で校歌斉唱、お開きとなりました。



昭和61年度活動報告

61. 4. 1 ~ 62. 3. 31

61. 4. 16 役員会 於/大学会館談話室
総会の準備打合せ
61. 4. 22 第3回総会 於/大学会館6F会議室
庄司部会長の挨拶に始まり、山田代表幹事の祝辞、議事を終え、西功明大就職課長の講演「現在の明大生気質について」があり、懇親会では交流を深め、最後に校歌斉唱で締めくくった。出席者 63名
61. 5. 14 役員会 於/大学会館談話室
総会の反省、勉強会の打合せ
61. 6. 24 第3回勉強会 於/大学会館6F会議室
公認会計士・税理士の中村俊輔先生による「資産税・相続税・贈与税の節税対策と土地を生かすヒントと知恵について」の内容で熱心な質疑応答もあり、大変有意義な勉強会でした。出席者 31名
61. 7. 11 役員会 於/大学会館談話室
勉強会の反省、納涼パーティーの打合せ
61. 8. 6 役員会(部会合同) 於/大学会館談話室
部会合同納涼パーティーの打合せ
61. 8. 8 部会合同納涼パーティー 於/大学会館大ホール
今回は部会合同、家族同伴で明大マンドリンクラブOB会の演奏を聞きながら、各部会同志の親睦に大いに貢献いたしました。出席者 70名
61. 9. 4 役員会 於/大学会館談話室
納涼パーティーの反省、勉強会の打合せ、伊香保温泉懇親旅行の打合せ、会報6号の打合せ
61. 11. 8 懇親旅行とゴルフの会 於/伊香保温泉、ホテル松本楼
~9 出席者13名と少人数ではありましたが、露天風呂(混浴)あり、カラオケあり、明大節ありでとても充実した旅行でした。
61. 12. 1 第4回勉強会 於/大学会館談話室
今回はフジテレビ解説委員、竹内貞男氏(32・文)をお招きし「円高の情勢判断と今後の政局について」と題し、とても分かりやすくお話をしていただき、大好評で次回も是非という声が多岐的でした。尚、竹内氏には二次会までお付き合いいただき、最後は全員で肩を組んで明大校歌を唱いました。出席者 28名
61. 12. 11 役員会 於/大学会館談話室
勉強会の反省、新年賀詞交歓会打合せ
62. 1. 13 役員会 於/大学会館談話室
新年賀詞交歓会準備、顔写真入り名簿作成について
62. 1. 14 新年賀詞交歓会 於/大学会館6F会議室
詳しくは2ページをご覧ください。
62. 2. 13 役員会 於/大学会館談話室
新年賀詞交歓会の反省、勉強会打合せ、62年度活動計画打合せ、規約改定について、部会報7号について

昭和61年度決算報告

61. 4. 1 ~ 62. 3. 31

収入の部		支出の部	
(1) 61年度会費	386,000	(1) 通信費(切手・ハガキ等)	126,940
(2) 62年度会費	33,000	(2) 印刷費(会報・案内状・名簿等)	380,400
(3) 総会会費	126,000	(3) 会場費(総会~新年会)	70,000
(4) 勉強会懇親会の残金(2回分)	24,300	(4) パーティー費(総会~新年会)	647,600
(5) 納涼パーティー収入	323,000	(5) 講師等謝礼	95,000
(6) 62年新年賀詞交換会会費	324,000	(6) 写真代	36,090
(7) 利息	1,177	(7) 雑費	44,580
(8) 前期繰越金	360,518	(8) 次期繰越金	177,385
計	1,577,995	計	1,577,995

(他にオークション売上 193,060円があります)

上記の通り報告いたします。

昭和62年3月31日

財務部長 兼 松 紘一郎

財務部からのお願い

4年目を迎えて会員数も大分増えてきましたが、半面当初メンバーに登録された方で、ほとんど会費を納入していただけてない方もおります。今年は写真入りの名簿の作成を考えていますが、あるいはその時にメンバー構成を再検討することになるかもしれません。いずれにしても、名簿の作成は会の運営の中心になるものですから、多少お金がかかりますが、是非まめたいと思っております。毎度おなじみのお願ですが、会費が全ての基本となりますので、本年度も是非早めに納入下さいます様お願い致します。

又、オークションのお金は昨年夏の合同パーティーの他は、まだ一度も使っていませんが、いざという時は会費の不足分をおぎなうことにさせていただきたいのですが、それだけでは面白くありませんので何かいい使い方の提案がありましたら、事務局までお知らせ下さい。

第一勧業銀行新宿西口支店
年会費 3,000円
普通預金062-1703889
明大昭和会建設不動産部会

勉強会に出席して

日立造船不動産(株) 東京支店 営業部
前田 昭 男 (56政経卒)

61年度の最後を締め括る勉強会は講師に本学OBの竹内貞男氏をお招きして、政治・経済に関するお話を伺いました。竹内先生は現在フジテレビ解説委員として多方面で活躍されていますが、今回は円高の情勢判断と今後の政局について独自の鋭い切り口で解説して戴きました。詳細な内容はさておき、マスコミでは紹介されない政界こぼれ話など、ポスト中曽根を占う興味深いお話を伺いました。

また、現在産業界を揺るがせている円高問題については、日本経済のファンダメンタルズに大きな変化のない限り、当面円安に向う可能性は小さいということでしたが、如何せん、この問題は根が深い上に時間的制約もあって、今回は十分な解説は難しかったようです。

円高問題については、出席者からも活発な質問が寄せられ、この問題に対する関心の高さが窺われました。

例によって勉強会後は二次会に繰り出しましたが、久しぶり(?)に飲む酒の旨さもさることながら、諸先輩の貴重なお話も多く、学生時代のゼミとはひと味違う充実した勉強会でした。

卒業して一度会社に入ってしまうと毎日の仕事に追い回され、なかなか勉強する時間もとれず、自分の属する業界には明るくとも「木を見て森を見ず」の諺通り、業界全体を取り巻く社会情勢には疎くなる面もあるようです。このような勉強会を通じて先輩、後輩の横のつながりを持つと同時に、自己啓発の機会を得ることの必要性を痛感した次第です。当日は、私のような若輩は数える程で、現在担当の地位で活躍されている先輩諸氏の貫禄に気圧されてしまい、挨拶も満足に出来ませんでした。そこは明治のOB会、家庭的雰囲気のお蔭で途中からは凶々しく名刺交換もさせて戴くなど大変充実した勉強会でした。

自分自身の視野を広げるだけでなく、建設不動産部会発展のためにも今後多くの若手会員が参加されることを心待ちにしています。

大和土地建物(株)
榎 本 行 男 (54年政経卒)

第4回の勉強会は、

昭和61年12月1日、明治大学大学会館の6階会議室において、フジテレビ解説委員の竹内貞男氏(昭和32・文卒)より「円高の情勢判断と今後の政局について」と題しての講演でした。

今回の勉強会では、アメリカのレーガノミックスの失敗による国際収支の慢性的赤字からアメリカ経済が債務国へ転落してしまったこと、このため現在1ドル160円台(61年12月時点)の為替相場も4~5年先には1ドル120円という大変な円高になる可能性があることを示唆されました。

今年に入り為替相場が1ドル140円台に推移するに及びこの講演は、現実的なものとなってきました。

他方、日本経済も円高による国際競争力低下のための構造不況および企業の海外進出による産業の空洞化が進み失業が問題となってきている現状および売上税の問題についても話をされました。

また、現在の政局において中曽根政権の寿命は、62年6月のベネチア・サミットまでではないか等、大変興味深い内容でした。

なお、近いうちに竹内先輩の第2回目の勉強会が開かれる予定ということですので、是非とも次の勉強会には1人でも多くの方が参加されるようお願いいたします。

会 員 探 訪 そ の 二



山本 慶四郎氏 ㈱丸ハエスエスジー社長
昭和28年商学部卒。埼玉県出身。現在奥様と二人で東京都日本橋
在住。趣味はゴルフ、バスケット。血液型はO型。好きな言葉は「初
心忘れるべからず」

Q 1. 現在のお仕事は？

高井興業でサッシの設計を6年程やり、昭和30年に独立しま
した。昭和58年より現在の会社を経営しております。

Q 2. 大学時代は何をなさっていましたか？

大学ではESSに所属するかたわらで、アルバイト活動にも一

生懸命でした。

Q 3. 部会について何かひとこと

これからも、部会には積極的に参加して行きたいと思っていますのでよろしく願いま
す。



六井 輝八郎氏 ㈱大日本建設 専務取締役
昭和31年経営学部卒。4人家族で現在千葉県浦安市在住。趣味は
食べ歩き。血液型はA型。好きなタレントは藤谷美和子。好きな言葉
は「常に初心に帰れ」

Q 1. 現在のお仕事は？

最初は都内で建売専門に営業していましたが、昭和47年頃か
ら浦安地域で営業を始め、長兄を社長として、社員30名の会社
になりました。

Q 2. 大学時代は何をなさっていましたか？

学生時代は藤芳ゼミで経営学を専攻していました。ゼミの集まりは毎年行われていて、先
生にお会いするのが大変なつかしく思えます。

Q 3. 部会について何かひとこと

情報交換をもっと活発にしてほしいと思いますね。



大 国 亨氏 イワタニハウス㈱ 専務取締役
昭和31年政経学部卒。現在、奥様と2人で埼玉県大宮市に在住。
趣味はゴルフ、読書、食べ歩き。血液型はB型。好きな言葉は「日々
是好日」

Q 1. 現在のお仕事は？

今の仕事につくまでに、最初は、神戸の船会社に在り、そ
の後東京で食品小売の自営をやり、その後、大正生命という保険
会社に勤めていました。それから結婚すると同時に岩谷産業に昭

和36年に入社しまして、58年に現在のイワタニハウスに来たわけです。

Q 2. 大学時代は何をなさっていましたか？

友人をつくってばかりいましたね。

Q 3. 業界についてひとこと

現在はツーバイフォー工法の住宅を主力にしています。とはいえ当社は業界では後発組で
すから先発組に追いつこうとは考えていません。ユーザー、環境にあった住宅を供給してい

きたい。それと女性の感性も大切にしていきたいですね。ウチは独自のターゲットに絞ってやっています。



西 義 信 氏 日本国土開発(株) 営業部長

昭和32年政経学部卒。福岡県出身。現在は、奥様と2人の子供さんと神奈川県藤沢市在住。趣味はゴルフ、旅行で血液型はO型。好きな言葉は「和」。好きなタレントは吉永小百合。

Q 1. 現在のお仕事は？

現在の会社の前に稲村建設と明治建設工業と2社の建設会社に勤務していました。その間、今までずっと営業畑一筋でした。

Q 2. 大学時代は何をなさっていましたか？

当時は大変な時勢であったのでアルバイトばかりしていました。

何しろ就職難でもありましたので。だから勉強の方はまあ程々という所でしたね。

Q 3. 業界について何か？

現在の建設業界は、内需拡大のブームの中にあっても相変わらず少ない利ザヤを求めて、激しい受注戦争が展開されています。同時に多産業の参入も多い。やはりこれからは自社造注型へ脱皮するなどして、他社に負けない技術開発を念頭においたノウハウが必要になっていくことでしょう。

Q 4. 部会についてひとこと

何かとコミュニケーションしづらい所があるので、もっと円滑なパーティーにしてほしいですね。



武 田 宣 夫 氏 (株)丹青社 取締役営業部長

昭和39年商学部卒。新潟県出身。現在は奥様と子供さん2人の4人家族で埼玉県浦和市在住。趣味はゴルフ、ラグビー。好きな言葉は「得意泰然、失意膽然」

Q 1. 現在のお仕事は？

39年に卒業し、この会社に入れば海外にも行けると思い入社しました。以後、ずっと営業畑です。

Q 2. 業界について

当社は、業界の中では資本金は34億4千万円程ですが、内装工事ではトップクラスの実績があります。競争もそれだけに激しいですが、潜在需要も大きなものがあると思います。現在はハード部門の施工が中心ですが、徐々にソフト部門のコンサルタントの仕事が大きくなっています。当社は百貨店の内装が多いです。

Q 3. 部会についてひとこと

参加者が非常に少ないと思います。どうも皆さん愛校心が欠けているのでしょうか。それだけにたまに参加してもなじみづらい所がありますね。だから部会で孤独な人をつくったりしないように努めてほしいですね。

(取材を終えてひとこと)

今回は桜も満開時期の4月上旬の春雨の中、1日5社というハードスケジュールをこなすことになりました。前回好評だった会員探訪も紙面を広げてがんばってつくりました。とにかくみなさん個性的、野性的、知的な方々でこちらも良い勉強になりました。(富川)

“ 会 員 の 声 ”

㈱中島商事
代表取締役 中島 欽一
(32年政経卒)

明大昭和会の鈴木正彦氏の御紹介で、建設不動産部会へ出席させて頂きました。

これまでビルのオーナーでありながら、不動産業という自意識が稀薄でしたが、部会での諸兄のお話を耳を傾けていますと、甚だ興味深く有益でした。

中島商事ビルは銀座の並木通に面しております。三年程前から並木通美化会と呼称して、五丁目から八丁目までのムーブメントを美術的なカラー歩道することをベースにして、パリのシャンゼリゼやニューヨークの五番街に匹敵する国際的なストリートにしようという会が発足しています。

単にカラー歩道の問題だけに止まらず、電柱、街路樹、街灯、車輛乗り入れ等々、山積する諸問題を、地方自治体がらみで考えていかなければなりません。私が八丁目会の会長を仰せつかっておりますので、各丁目の会長さんや役員の方々と、しばしば会合を持ち、連合美化会の会長である資生堂さんを中心に一日も早い実現に努力しております。

大規模な土木工事になることは必定ですが、大きな夢のある構想なので、部会の諸兄のお智恵も拝借したいと考えております。

「 新 年 賀 詞 交 歓 会 に 出 席 して 」

㈱中里建設
織田 博文(40・文)

1月16日学生会館において、建設・不動産部会の賀詞交歓会が開かれた。

私はこの会に入会したものの、これまで業務上の都合等を理由に一度も出席したことはなかった。ところが、会から度々送られてくる会報をみているうちに今年は出席してみようかと思い、行ってみることにした。お茶の水駅から22年前に通った道をなつかしがりながらゆっくり会場に向った。

会場には多くの人が集った。皆んな明治の顔である。

午後7時、司会者の挨拶とともに会が始まり、部会長の挨拶があった。その間、会場には食べ物や飲み物が運ばれ、誰れともなく飲み食いがはじまり、しばらくすると名刺の交換がはじまった。その頃になると、酒も少し回ったとみえてあちこちで大きな話し声がするようになった。すると突然「私は立川談志の弟子で立川談之助と申します。昭和一年に明治大学を卒業しました」と若い落語家が入ってきた。これも明治の顔である。

この若手落語家が何やらやっているうちに時間もかなり過ぎた。そこで、一人の人が前にでて指揮をとりはじめた。「おお明治、その名ぞ我らが母校
おお明治——」なつかしい歌であった。

校歌も終わった。もう時間もかなり過ぎた。私は今日、入学から卒業までの4年間をたった数時間のうちに再現したような気がし、新年の夜道を帰路についた。



アメリカ建築かけある記



ヒューストン フォーリーフタワー
にて筆者

(株)兼松建築設計事務所

代表取締役

兼松 紘一郎 (37・工)

“インテリジェントビル”の概念がアメリカから導入されて以来、たまたまオフィスビルの設計の多い私にとっては、NTT、電気メーカー等によるセミナー、メーカー見学、展示会、又建設省後援によるAEC技術展等と知識を吸収するのに急で、頭の中が少々コンガラがっていた。

そして、それ等に関する本を読みあさると、PBXやLANとかいったもの他に、アトリウムに代表されるような“エルゴノミクス”のコンセプトによるオフィスビルがアメリカにはいくつも建てられており、ポストモダンもどうやら単に流行ばかりではなさそう

だノということになって、“ポストモダンとインテリジェントビル視察”のツアーに参加するために成田を飛びたったのは、昨年(昭和61年)の11月だった。

9日間で、“シカゴ”“ニューヨーク”“ヒューストン”“ダラス”“サンフランシスコ”の五都市のオフィスビルを中心に、建築を見て歩くという大変ハードなスケジュールで、とうとうカーンのキンベル美術館に行った時は、バスの中でハンバーガーの昼食、最後のサンフランシスコでは昼食抜きになってしまった。

シカゴは、とても湖とは思えないしかも冬は凍結してしまうという大きなミシガン湖に面した大変美しい街である。

SOMの設計による世界最高の高さを誇る“シアーズタワー”が、ニューヨークのエンパイヤのように一種のモニュメントとしてあちこちから望める。我々は早速お上りさんらしく、展望室までのぼりシカゴの街を一望したが、日頃新宿の超高層をながめているせいか、それほど高いとは感じられない。これは廻りのビルが皆高いせいもあるかもしれない。

ビルの外観は端正で、暗色のコントロールがよく、とてもきれいにおさまっているが、内部のインテリアのつめがあまり、カルダーの動く彫刻の置いてあるメインロビーなど、小さくてスケール感が少しおかしい。これはインテリアが別の組織でなされた事と無関係ではないと思う。

アメリカは、設計に於ても分業が徹底しており、一つの建築の設計が意匠設計、インテリア等別々の組織の組み合わせによって行なわれる事が多く、ディベロッパーの成功の秘訣は、どの建築家と、どのインテリアデザイナーを組み合わせるかにかかっているのだという話であった。そういえば、ヒューストンのトランスコタワーは、フィリップジョンソンの設計によるが、インテリアは、このシアーズタワーの設計事務所SOMのインテリア部門によって行なわれたという事で面白い現象だと思う。

シカゴ最大の観ものは、ヤーンによる、イリノイ州立センターであるが、あいにく日曜日の中で入れない。

ヤーンの代表作でもあり、インテリジェントビルとしての成功例、又ポストモダン?の建物と

しても知られている。丁度円錐をナナメにカットした様なアルミカーテンウォールによる、オカシナノ建物であるが、私の目には、ディテールの荒さと、思いつきによる形態のみによる建物の様な気がして仕方がない。

しかし、この建物が公立によるオフィスビルであり、この様なものが建ってしまうというアメリカの底力のようなものが、妙な圧迫感となってせまってきたのも確かであった。

大吹抜によるアトリウムの空調等のコントロールがうまくいっている例として、ものの本には紹介されていたが、実際は熱は階上に行ってしまうし、音が全て上階に集ってしまって使いにくくて仕方がないのだという、コーディネーターによる話もあり、ナルホドノと納得した。

ニューヨークは都会に生活している私にとって大変懐しさのある街である。ソーホーあり、ブロードウェイあり、五番街あり、おまけにハーレムまであり、何度も来てみたいところである。

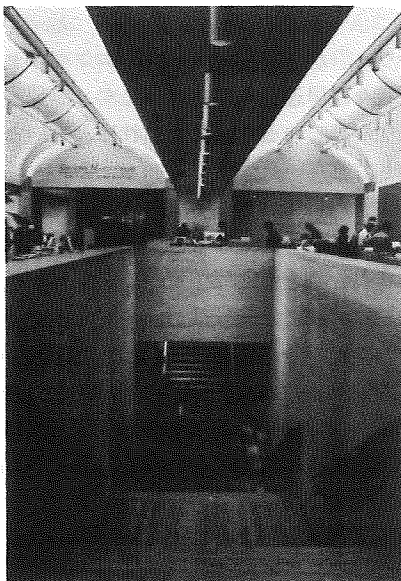
シーザペリが素晴らしい仕事をしている。ワールドフィナンシャルセンターは、彼の代表作にもなると思われる大プロジェクトであり、又、ジョンソンのやった近代美術館の増築を設計したが、その住居棟には、ジョンソン御大が入居しているというオマケまでである。

この近代美術館の増築は、運営費の念出に困っていた市が、いわゆる空中権を、あるディベロッパーに売却し、その費用で増築と、運転資金を作り、買取ったディベロッパーは、オフィスと超高級マンションを、シーザペリに設計させたという形態で成立した。

空中権はニューヨーク市独自のシステムのものであるが、その土地に規定された容積率があり、その権利を放棄して隣接地の権利者が取得すると、その土地にはその分の容積が上積み出来るという制度である。

これには市の認可が必要とされるが、例の低層のブロードウェイのミュージカルの劇場群にその話が持ち上っており、市が認可すべきか否か、文化人をまき込んで、大変な騒動が起っているという事である。

ニューヨークでは、コンベンションセンターの事も記しておかなくてはいけない。IMペイ設計による途方もなく大きなスーパーフレームとガラス貼りの建物はともかく、20年先きまで予約でうまっており、アメリカにはこういう企画を成功させ得る力を持った組織が存在するという事である。コンベンションセンターが成功するという事は、大勢の人が来るという事であり、街が生きのびるという事でもあるようだ。



キンベル美術館

夜ジャズの宝庫、ヴィレッジヴァンガードでメルレイスを聞いた事も、ちょっと自慢のたねとして書かせて下さい。

ヒューストンでは、色ガラスを使い分けたカーテンウォールによる、シーザペリの大変美しいフォーリーフタワー、フォーオクスとジョンソン設計のトランスコタワーが素晴らしい。何故このテキサスの大平原ノの中に超高層かという命題と、モノトーンによるガラスのカーテンウォールにこめられたジョンソンの想念に思いをはせる。

アメリカでは建築家の位置は大変高く、ちなみに医師は命を司どり、弁護士は社会を司どり、そして建築家は文化を司どると云われているそうで、日本から建築家のグループが視察に来たと云うことで、大変親切に内部の全てをマネージャーに案内していただいた。

室内はSOMだという事であるが、石と木と金色を使ったインテリアに今までのオフィスの概念と違うものを感じた。

トランスコタワーの近くにある、アメリカでも大手の設計事務所である、CRSS(シアレス)を訪問した。

ここでは、オフィシングという言葉を使ってオフィスのコンセプトを追求している。

最も印象に深かったのは、何よりも人間が大切であり(特にシンクタンクであるアメリカの設計事務所では)優秀な人材を集め、人の能力を発揮させるためにオフィスのデザインがなされるべきであり、ここにエルゴノミクスの概念が集約されているということである。CRSSでの数時間は、今後の私の設計活動にとっても大きな影響を受けそうである。

ヒューストンにしろ、ダラスにしろ、ダウンタウンは、アルミとハーフミラーのカーテンウォール及び石のカーテンウォールのいわゆるポストモダン調(必ずしもそうとは云えないのかもしれないが)のインテリジェントビルが、今までの古いビルとは一線を画して建っているが、全体的には、いかに他人とは違うデザインをし、目立とうとしているかに集約されているような感じであり気持ちのいいものではない。いくつも見ていくうちに、又かという感じになり、くたびれてしまうが、ただ、オフィスが単にいわゆる仕事をする場というだけではなく、企業にとってもオフィスワーカーにとってもある種のステイタスを要求しているのだという事は感じられる。

ダラスから足を延ばしてフォートワース郊外にあるカーンのキンベル美術館や、サンフランシスコのはずれの、ライトによるマリン郡庁舎を見た時は、本物の建築に出合ったという気がしてホッとした。特に、キンベルは私の今まで体験した建築空間では最高であり、いつまでもその暖さとか、やさしさとか、厳しさとかが忘れられない。中で働いている人達が誇りを持って、写真を取りまくっている私達を見守ってくれたその笑顔が忘れられない。

情報交換コーナー	
<p>「任せて安心、三菱の仲介 をモットーとして不動産仲介業務を行っております。個人の住宅から法人の土地取得まで幅広く手がけております。湘南方面はもとより、都内の情報がありましたら御一報下さい。</p> <p>〒251 神奈川県藤沢市藤沢438-1 藤沢ルミネプラザ8F 三菱地所住宅販売㈱ 藤沢店店長 TEL 0466-24-3456 安井 泰典 (46・商)</p>	<p>当社は、信義と誠実を旨とする住友グループの一員であり、多様化する社会のニーズに応え、「一般土木」「宅地造成」「レジャー施設」等環境づくりに関連した様々な事業を展望しております。宜しく御願い致します。</p> <p>〒164 東京都新宿区荒木町14 住建道路㈱ 東京支店 TEL (357) 9081 営業係長 粟野 勉 (54・政経)</p>
<p>ただ求められた建設を進めるだけでなく、目に見えないニーズをとらえ業種の枠を超えた柔軟な発想と技術で新しい価値を創り上げてゆくことが私たちの使命です。</p> <p>先端技術と建設を結ぶフジタ工業 ※テナント・土地に関する情報がありましたら宜しく御願い致します。</p> <p>〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 フジタ工業㈱ 建築本部 営業部主任 TEL 03(402)1911 難波 文章 (48・農)</p>	<p>作業所の女子事務員を募集中。知人等で希望者がおりましたら、御紹介下さい。</p> <p>また、一級・二級建築士を持った人で施工を希望する人も捜しております。</p> <p>〒104 東京都中央区京橋2-16-1 清水建設㈱ 建築本部総務部人事課 TEL (535) 4111 望月 章次 (50・商)</p>
	<p>伊豆に関しては何でもOK!!</p> <p>〒141 静岡県伊東市吉田753-9 (有)富士興産 TEL 0557(45)1457 代表取締役 小林 秀樹(36・商)</p>

< 昭和62年度活動計画 >

4月21日	総会	(於 大学会館)
6月	勉強会	(")
8月	納涼パーティー	(")
10月末	懇親旅行	(於 明大針生山荘)
11月初		
12月初旬	勉強会	
1月	賀詞交歓会	

※ 部会報発行 2～3回

※ 顔写真入名簿発行

事務局だより

次の方々が役員に就任されました(敬称略)

前田 昭 男 (56・政経)	日立造船不動産㈱	03-201-1221
柳 沢 克 行 (53・政経)	東京電装営業	03-233-2257
富川 幸治郎 (61・政経)	清水建設㈱開発事業本部	03-562-4111

お知り合いで当部会への入会希望の方が居られましたら事務局へ御一報下さい。入会カード名簿、部会報をお送り致します。

事務局
東京都渋谷区代々木2-10-10
㈱鈴木不動産内 鈴木正彦(40・経営)
TEL 03(370)8458

編集責任者 鈴木康弘(39・商)

投稿歓迎!!
この部会報に投稿してみませんか。どんな内容でも結構です。皆様の手で部会報を育てて下さい。